



R. S. C. D. S.

# 東京ブランチレター

No. 7

年末も押し迫り、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。  
東京ブランチが新役員の体制で運営を開始して最初のブランチレターになります。会員各位には、東京ブランチ会報を既にお配りしましたが、今後もブランチレターの形で会員相互およびスコティッシュダンスに関する情報を提供していきたいと考えております。

## 1. 東京ブランチ行事報告

### ☆BOOK 35 講習会

10月2日(日)東京、千代田パークサイドプラザにて松橋順子さん及び今年のRSCDSサマースクール参加者を講師としたBOOK 35の講習会を開催しました。約50名の方が参加され、7曲の新曲を踊りました。ちなみに今年のBOOKは、RSCDS創立にMiss Milliganとともに御尽力を尽くされたMrs. Stewart of Fasnacloch にちなんだ曲が紹介されています。

### ☆東京ブランチ交歓会(平日クラス)

10月28日(金)埼玉県上尾の県立スポーツ研修センターにて、ブランチ初の試みとして、平日の交歓会を行いました。ブランチの行事が通常休日に多いためどうしても都合がつかない会員を対象に行ったわけですが、50名以上のクラスとなり、盛況で充実したクラスになりました。大半が主婦の方で、男性は講師の岩崎誠司氏をはじめとして4名でした。非常に好評でしたので、今後も年に2回程度の実施を検討したいと考えています。次回は、1989年3~4月頃に2回目の平日交歓会を予定したいと考えています。

## 2. NEW affiliated group の誕生

日本での新しいR.S.C.D.S affiliated groupが誕生しました。東京ブランチ会報の中でも紹介してある『関西スコティッシュカントリーダンス研究会/The Kansai Scottish Dance Thistle Group (代表者:幸重 宜文)』が正式に本部の承認を得て、日本での新しいR.S.C.D.S affiliated groupとして登録されました。これまで大阪で活動していた大阪スコティッシュカントリーダンス研究会とS. D. THISTLEをひとつのグループとして扱い、今後活動をしていくとのことです。

ちなみに幸重氏は学生のころからのスコティッシュダンス愛好者で、奥さんのキャシーさんは彼がシカゴ留学中にシカゴブランチで知り合ったダンス仲間という国際派です。今後、より一層の活躍を期待したいと思います。

### 3. グラスゴー・ガーデンフェスティバル／東京スコティッシュブルーベルクラブ奮戦記

ブランチ会報のインフォメーションで紹介しましたグラスゴー・ガーデンフェスティバルの日本ダンサーの奮戦について紹介いたします。以下、岡田昌子さんの手記より。

スコットランド一の都会グラスゴーで4月から6ヶ月にわたって開催されていたガーデンフェスティバルのメインイベントの一つ、スコットランドダンスインターナショナルデイ（8月21日）に招待され、有名なハイランドダンス競技会 THE COMMONWEALTH CHAMP. と招待選手による THE INTERNATIONAL TEAM COMPETITION の2大イベントに参加する事ができました。来年7月～10月開催予定の「海と島の博覧会－広島」がスポンサーになって、博覧会の公式親善使節としてチームダンスの4選手と監督の私を派遣して下さり、他に自費参加の4名も加わって9名の大集合となったのです。

THE COMMONWEALTHは最もグレードの高い競技会の一つで挑戦者は総計165名、種目は HIGHLAND FLING, GILLIE CHALUM, SEANN TRUIBHAS, STRATHSPEY & TULLOCH の4種、これを2つのステージで各3～4人のダンサーが延々数時間に渡って競う訳です。

世界中から一流のダンサーが集まっていますから素晴らしい内容でしたが、初参加のジャパニーズダンサーへの声援は物凄く、特に小山芳樹さんのSEANN TRUIBHASにはしばし拍手と歓声が鳴り止まぬ程でした。

TEAM COMPETITION は世界初の試みで、今後4年毎に開かれる予定の第一回大会でした。参加国はオーストラリア、カナダ、アメリカ、スコットランドと日本。順序はくじで日本が一番、スコットランドが最後、ダンスの条件は4人の為のハイランドステップ創作ダンス、楽器は自由但しテープ使用。

日本チームはクラブメンバーの市川裕一さんの演奏する日本のメロディーで、岡田が振り付けた「広島海と島」、ダンサーは丹羽啓子・保谷恵子・奥村尚子・桜井香枝の4名でした。踊り終えて鳴り止まぬ拍手に、遙か東洋の国日本で自国のダンスがこれほど立派に踊られているとは夢にも思っていなかった現地の人々の感激と喜びの深さが伝わってくる様でした。

幼児から専門のダンススタジオで訓練を積み続けて成人した選手の技量は高く、今回は残念ながら日本人の入賞はなりませんでしたが、我が選手は決して見劣りする事なく非常に善戦しました。誰もが世界チャンピオンに互した踊れた事で素晴らしい勉強が出来たと感動していた事は嬉しい事でした。彼らは間違い無く1歩前進したのです。成長したのです。後から来る人達にきっと何かを伝える事が出来るでしょう。本当に素晴らしい経験でした。

#### 4. 新しいスコティッシュカントリーダンスグループの紹介

『R. S. C. D. C. (ローズ・スコティッシュカントリーダンス・クラブの誕生)  
1987年11月13日(金)に産声をあげたRose S. C. D. C. は女性ばかりの集まりです。11月20日に1周年記念パーティをいたしました。「不変にして真実」プラス「楽しさと美しさ」の欲張りモットーです。金沢・スコティッシュカントリーダンスクラブの例会が月に1度だけ、それではもの足りないというので自分達でつくったのです。

基礎ステップががとても大事だというのはわかっているけど、それをやって見せてくれる人がいない。見様見まねで本に書いてある通りに説明してみてもうまく行かない。ボヤけた基礎ステップのビデオを斜めからみたらもう少しわかるかしら...。と画面の前で右往左往。ステップ練習用の音が無くて、ピアノを弾いてテープにいれたものを使ってみたりクラシックのレコードからとってみたら、とんでもないところでフェルマータがかかり、足が宙に浮いたままという1コマもありのローズです。(渡辺 美千代)

\*以上、渡辺さんの便りをそのまま掲載させていただきました。



## 5. ランチ会報訂正事項

すでの配付済の東京ランチ会報での誤り箇所を訂正いたします。

☆つくし野スコティッシュカントリーダンスクラブ/つくし野S. C. D. C.

連絡先 誤：山内 たえ子 0462-74-0882

↓

☎ 272 大和市南林間 3-5-3

正：河野 圭子 0427-95-6171

☎ 194 町田市南つくし野 2-15-13

☆ Tokyo Scottisha Blue Bell Club 住所変更

誤 ☎ 113 文京区湯島 1-9-0-304

↓

正 ☎ 113 文京区湯島 1-9-10-304

☆ 会員名簿の訂正

長期会員で掲載の大越圭子さんは、88年ランチを退会しています。事務局の不手際で会員名簿に掲載してしまった点をお詫び申し上げます。

## 6. ランチよりお知らせ

東京ランチの合宿は、2月18日(土) - 19日(日)埼玉県スポーツ研修センターにて行います。配付済のランチ会報での日程と変更になりましたのでご了承下さい。尚、詳細は同封の合宿研修会開催要項をご覧下さい。皆様の参加をお待ちしています。

# Blow me it's broly wet here

**Y**OU can always trust the Japanese to go one better.

Now they've taken another Scots tradition and given it the Oriental touch.

But Shoko Okumura and Kei-Ko-Niwa are just as good at international relations as their countrymen are at industrial.

And they did a broly good job to keep piper Nell Nicholson dry when the rainy season came to the Glasgow Garden Festival yesterday.

The girls were giving a performance of Highland dancing Japanese-style before tomorrow's Commonwealth Championships.

And they kindly left their pals from the Hiroshima Goodwill Mission, to keep the rain off his regalia.



RSCDS 東京ランチ  
1988.12.21発行  
発行：RSCDS東京ランチ  
事務局：岩崎誠司  
03-328-3951